

吉岡ロゴテック

特殊印刷などの吉岡ロゴテック(本社福井市花堂南2丁目、吉岡敦之社長)は、乳幼児が誤ってのどを突かないよう安全性に配慮したスプーンとフォークを企画、開発した。製造は台湾のメーカーに発注し、大阪のベビー用品販売会社を通じて7月から全国の専門店などで販売する。

新商品は「ミラクルスプーン&フォーク」と名付けた。先端部と持ち手の間に直径3.8センチの円形の「壁」が設けられているのが特徴。口にくわえたスプーンやフォークの先端が、のどに届くのを防ぐ構造になっている。「壁」の一部は平らになっていて、転がっていくことはない。また、子どもがテーブルに放り出して「壁」によって、先端部分がテーブル表面

のど突かないスプーン、フォーク



安全性に配慮した「ミラクルスプーン&フォーク」

などに触れることがなく、清潔さを保てる。素材は耐熱性の樹脂で、自動食器洗い乾燥機などの使用も可能。生後半年から3歳くらいまでの子どもを対象に想定している。

商品の構造に関して特許庁の意匠登録を受けている。価格はスプーンとフォークの1セット2100円。吉岡社長は「出産祝い品などのニーズを見込んでいる」と話している。

同社は中間加工業からの脱却を目指し、自社ブランド商品の開発に力を入れており、今回の商品はグラスに挟んで固定できるマドラー、ココアスプーンに次ぐ第3弾。

吉岡ロゴテック(福井)開発

のどを突かないスプーンとフォークを企画、開発した。製造は台湾のメーカーに発注し、大阪のベビー用品販売会社を通じて7月から全国の専門店などで販売する。

乳幼児の食事安心